

全国アマモサミット2008 横浜宣言

アマモは、砂質や砂泥質の浅海域に群落を形成する海草であり、魚介類に生育と繁殖の場を提供してきました。しかしながらここ半世紀以上にわたる沿岸域の開発がアマモ場の減少をもたらし、豊かな海の環境が破壊されつつあります。

四方を海に囲まれたわが国にとって、浅海域の環境、とりわけアマモ場を再生・保全することは重要であり、それは私達の責務でもあります。

そのような状況下で、2006年には、「アマモサミット・プレワークショップ」を横浜の地において開催し、全国でアマモ場再生に取り組んでいる仲間たちと共に、全国アマモサミット開催の必要性を確認し合いました。

そして、2008年の12月、ここに、多くの関係者の理解と協力のもと、全国アマモサミットを開催することができました。

本サミットでは、海辺の自然再生に向けた様々な取り組み、全国各地で活動しているアマモ場再生活動、そして、自然再生に熱心に取り組んでいる子供たちや生徒たちの活動を知ることができました。あわせて、アマモ場再生を切口にした海辺の再生・保全に取り組んでいる方々からの熱いメッセージとその実践内容について報告いただき、情報を共有することができました。

さらにまた、パネル討論において、「地域連携」「世代連携」の重要性に気づき、議論を深めることができました。

「海のゆりかご」と呼ばれ、海辺の環境をよりよくするアマモ場を再生するために、みんなで知恵を出し、行動を開始しなければなりません。「みんなの力でアマモ場を再生し、子供たちに残そう豊かな海」を合言葉に、私達は次のような行動に取り組むことを宣言します。

1. 一人ではできないことも、みんなで取り組むことで、大きな力となり目標を達成できます。一人でも多くの人の参加によるアマモ場再生活動となるよう、できることから始められるよう、取り組み方法を工夫します。
2. 各地のアマモ場再生活動は地域性に富んでいます。「まちおこし」としての役割にも着目し、その地域の特性から生まれた取り組みの様式を尊重しながら、小さな成功の積み重ねや、失敗例等の情報の共有化とその活用に努めます。
3. 一つの流域には、山から海まで、森・川・海・里の再生に頑張っている多くの仲間たちがおります。企業・産業の視点からも相乗効果を高めるため、この仲間どうしで情報共有を進めます。
4. みんなで想いを共有できる目標の設定、より良い人間関係の構築、科学・技術に根ざした行動のために、時間をかけ、魅力あるリーダーシップの醸成、専門家による支援を促進します。
5. 次世代を生きる子供たちが、命の大切さに気づき、夢を持って、いつでも・いつまでも楽しみ、そして学びながら継続して取り組める、海や川の環境保全に向けた活動のシステム（プログラム）の構築を目指します。

本サミットを通じて、確認し合った熱い思いと絆は、次のステップに踏み出す原動力になるものと思います。本宣言がそうした力を引き出す糧となることを切に願っています。

平成20年12月6日

全国アマモサミット2008 参加者一同

全国アマモサミット2008 実行委員会